

不整脈と向き合うには

最近、胸が苦しい、動悸、息切れ、めまい、気を失うなどの症状はありませんか？もしかすると、それは「不整脈」かもしれません。

私たちの心臓の筋肉は、電気信号で規則的に収縮と弛緩を繰り返して、血液を送り出しています。何らかの理由で電気信号に乱れが生じ、拍動のリズムが一時的に不規則になり、脈が乱れる状態が「不整脈」です。

心筋梗塞による突然死を耳にしたことはありますか？心臓突然死の大半は心室細動という「不整脈」によって引き起こるといわれています。「不整脈」をそのまま放置するのは突然死のリスクがあるともいえます。

今回、「不整脈」について、循環器内科 准教授（兼 不整脈センター センター長）里見和浩 医師が詳しく解説をいたします。

どうぞ皆さまお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

■日 時：平成30年4月26日（木）

開場 17:00

開演 17:30～

閉演 18:30（予定）

■会 場：東京医科大学病院

本館6階 臨床講堂

（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）

■入 場 料：無 料

■申し込み：事前の申し込みは不要。当日は会場に直接お越しください。

■お問合せ：東京医科大学病院 総務課 ☎ 03-3342-6111(代)

※尚、座席数に限りがございます（320席）。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。

共催：東京医科大学

東京医科大学病院 生涯教育センター

東京医科大学病院 総合相談・支援センター

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団

東京医専

